

# 令和6年度事業報告書（令和6年5月1日～令和7年4月30日）

（敬称略）

## 《事業の概要》

写真を通じて日本文化の進展に寄与することを目的に、令和6年度は次の事業を行った

## 《中長期戦略企画室》

1. 日本写真会館・建替え実現に向けて
  - ・ スターツ・グループと1回/月の連絡会にて、建築計画(店舗・住居・協会利用スペース・レイアウト等)、竣工後の収支計画等を協議し、建替え実現化を鋭意推進した
  - ・ 解体工事開始に合せて、全テナントに令和7年7月末迄の退出手続きを働きかけ、賃貸借契約を改定した
  - ・ 事務局一時移転プロジェクトを立上げ、所有する写真、機材、書籍を整理し、スムーズな移転実現に向けた準備を推進した
2. 「当協会の方向性(未来像)」構築についての協議
  - ・ 会館建替え後に向けて当協会のあるべき姿の協議を、理事会、研修会、全国会議等において開始した

## 《総務部》

1. 令和5年度功労者表彰/令和6年度功労賞贈呈者の決定
  - ① 第78回定時会員総会にて令和5年度功労賞受賞3名及び、令和5年秋・藍綬褒章受章者1名・黄綬褒章受章者1名、令和6年春叙勲・旭日双光章受章者1名を紹介、出席した4名を表彰しその栄誉を称えた
  - ② 令和6年度功労賞贈呈候補者1名を選出し、令和6年度第2回理事会にて議決・承認した。第79定時会員総会にて表彰する
2. 全国ブロック、都道府県との合同会議を令和6年度は2回開催し、連携強化を推進した  
(令和6年12月・次年度計画設定に向けて、令和7年3月・次年度計画の準備状況の共有化と意見交換の場として、ともにオンライン会議システムにて開催)
3. 写館協との事業連携の一環として、第1回学校写真フォーラム(令和6年5月28日)開催等を推進した
4. 関連団体との情報交換と関係強化
  - ① 日本写真著作権協会(JPCA)との連携強化により、会員の著作権意識の浸透を推進した
    - ・ 全国ブロック、都道府県との合同会議(オンライン、令和7年3月28日開催)では「JPCA 教育利用アーカイブ」を1テーマに挙げ、利用促進を図った
    - ・ 日本写真著作権協会月例会議への出席 / JPCA ニュースを「写真文化」送付に併せて、全会員に配布
  - ② 3団体連絡会を通して、日本写真家協会(JPS)、日本広告写真家協会(APA)との交流を促進した
5. 国際交流の推進・WPCの認知度向上策とWPC2025への参画
  - ・ WPC2025 国内応募総数 250点
  - ・ WPC2025 授賞式 3月20日 南米・エクアドルで開催  
コマーシャル6位 右近倫太郎、ナチュラルポートレート9位 野尻雄介  
ウェディングオープン8位 池内基曜 / 9位 嶋田陽介、ウェディングルポルタージュ8位 坂口大樹  
ベストオブネイション賞(国ごとのベストアワード表彰)コマーシャル 右近倫太郎
6. 日本写真会館テナント管理徹底 : 建替え工事開始に合せ、令和7年7月末迄に全テナントの退出手続きを推進した
7. 収支見込変更届出書の提出と受理
  - ・ 一般社団法人である当協会は、会館建替えは資産運用方針の大幅な変更であり、令和6年10月、内閣府に「収支見込変更届出書」を提出し、受理された

## 《財務部》

1. 令和5年度公益目的支出計画実施報告書等提出 7月末内閣府へ提出・受理された
2. 主要事業の予算設定に向けた指針を月度会議にて協議
  - ・ 教育訓練部「夏期写真大学講座」、文化部「全国展フォトコンテスト」等の主要事業については、収支見通しもしくは実績をもとに的確な予算設定に向けた指針を協議した
3. 財務・月度管理の徹底 : 財務部・徳田経理顧問・事務局と毎月度実施した
4. 令和7年度予算の策定 : 予算案を策定し、令和6年度第2回理事会にて議決承認された

## 《文化部》

1. 全国展フォトコンテスト(全国写真展覧会)の実施
  - ① 第70回(表彰式・入賞入選作品展)
    - ・ 応募数 : 2,131点(対前年101%)、応募件数 : 914件(対前年101%)
    - ・ 審査員 : 米美知子、菅原隆治、田中秀幸、小林かずとも、東山治男、ひしくにお
    - ・ 入賞入選 : 入賞26点、入選74点、優秀賞15点 計115点
    - ・ 表彰式 : 令和6年5月28日(火) 東京都美術館講堂(東京・上野)
    - ・ 入賞入選作品展、会場・会期・入場者数

| 会 場            | 会 期                     | 入場者数   |
|----------------|-------------------------|--------|
| 東京都美術館(東京・上野)  | 令和6年5月28日(火)～6月4日(火)    | 1,682名 |
| 富士フィルムフォトサロン大阪 | 令和6年9月13日(金)～9月19日(木)   | 2,885名 |
| ポートレートギャラリー    | 令和6年12月19日(木)～12月25日(水) | 456名   |
| 入 場 者 合 計      |                         | 4,114名 |

- ・ブロック選抜展を東京都美術館、富士フィルムフォトサロン大阪で併催した。

## ② 第71回(募集・審査)

- ・募集期間：令和6年12月5日(木)～令和7年2月5日(水)
- ・応募料：単写真…1,500円/点、組写真…2,500円/組、学生の部…500円/人
- ・応募数：1,888点(対前年89%)、応募件数：945件(対前年103%)
- ・審査員：辰野清、菅原隆治、田中秀幸、小林かずとも、野口進、根岸真二郎
- ・入賞入選：入賞26点・入選75点・優秀賞15点 計116点

| 賞          | 氏 名    | 都道府県名 | 部 門  | タイトル   |
|------------|--------|-------|------|--------|
| 内閣総理大臣賞    | 石津 武史  | 奈良県   | 第1部  | 送り日    |
| 文部科学大臣賞    | 相川 頼之  | 千葉県   | 第2部  | 流転     |
| 文部科学大臣賞    | 永田 久美子 | 福岡県   | 第3部  | 時間の彫刻  |
| 日本写真文化協会賞  | 加藤 和奏  | 福井県   | 学生の部 | ルーティーン |
| 下岡蓮杖賞      | 教野 弘孝  | 滋賀県   | 第1部  | 演のともだち |
| 奥田昇きもの写真大賞 | 武藤 芳行  | 埼玉県   | 第3部  | 凜々と    |

## 2. 第73回写真の日記念イベント 第1回学校写真フォーラムの開催

- ・日時：令和6年5月28日(※第70回全国展フォトコンテスト表彰式終了後に開催)
- ・会場：東京都美術館(東京・上野) ・参加人数：100名
- ・当協会・写館協・全日本学校アルバム印刷組合の3者が、卒業アルバムの文化を継承していくために、「学校写真フォーラム委員会」を立ち上げた。第1回フォーラムはパネルディスカッションを通して、学校写真・卒業アルバムの、現状の問題点、課題、成功事例等をピックアップし、共有化した

## 3. ポートレートギャラリー運営

- ① ポートレートギャラリー展示作品申込み・実施状況(令和6年1月～12月迄の1年間)  
50会期全てを開催した。展示申込み概況は、申込み数62 選考合格50 落選12(倍率1.2倍)
- ② 写真展開催実績：企画展1件、公募展48件 計49件(令和6年度)  
〈展示内容分析〉・主催：企画展1、会員展1、写真学校2、一般団体29、一般個人16 計49件  
・内容：風景13(27%)、山岳3(6%)、花2(4%)、鉄道2(4%)、ドキュメント9(18%)  
人物2(4%)、文化財3(6%)、混在15(31%)

## 4. スクールフォトビジネス対策の推進

- ① 卒業アルバムの文化を継承していくために、第1回学校写真フォーラム開催の他、「学校写真フォーラム委員会」の活動を写館協・全日本学校アルバム印刷組合とともに継続的に推進した
- ② NPO法人「よみがえれ卒業アルバム」事業への協力を推進した

## 5. 写真の普及並びに写真文化・芸術に関する調査

- ① 日本写真映像専門学校卒業制作優秀作品の表彰  
日本写真文化協会会長賞：写真コミュニケーション学科・写真表現コース  
八田樹「私と発達障害と社会との向き合い方」  
写真コミュニケーション学科・営業写真コース 細江陽登「衣鉢を継ぐ」  
フォトファイン学科 池田瑠柊「白髭のおんじ」  
日本写真文化協会奨励賞：写真コミュニケーション学科 村瀬智幸「大阪を動かす人の笑顔」
- ② 山梨県高等学校写真連盟年間表彰(日本写真文化協会賞)  
金賞：北杜市立甲陵高等学校 佐野綾香、銀賞：山梨県青洲高等学校 ジェンセン伶奈  
銅賞：北杜市立甲陵高等学校 小林由征

## 6. 写真の祖 下岡蓮杖翁の顕彰

- ・墓参会：令和7年3月3日(月)染井霊園(東京・巣鴨) 参加20名

## 《広報部》

1. 広報部は、広報部会にて情報共有・活動内容の大筋を検討し、その上で出版、IT・広報の2委員会で詳細を協議・遂行する体制で運営した
2. 文協の知名度・ステイタス向上のための活動推進…情報発信と収集・共有化の窓口として活動を展開した
3. 出版関係：機関誌「写真文化」の更なる内容の充実及び、全国会員からの情報収集基盤の確立を推進した
  - ① 「写真文化」では、新規連載企画「新写真文化」にて、ビジネスポートレート等、新規トレンドを紹介した
  - ② 「写真文化」発行減(6回/年→4回/年)の対応として、メールマガジン「写真文化+(プラス)」を令和6年度4回、タイムリーに発信した
  - ③ 写館協編集部との情報交換
    - ・定期的な情報交換により、編集企画の独自性を確保した

4. IT 広報関係：

- ① メールマガジン「写真文化＋(プラス)」企画推進と未収都道府県からのメールアドレス収集を促進した
- ② ホームページのリニューアルを推進。「写真文化」をお客様目線で提案する内容を目指し、更新した
- ③ 全国展フォトコンテスト・会長年頭所感等のニュースリリースを発行し、主要事業の对外告知を推進した

《教育訓練部》

1. 令和6年度「第61回夏期写真大学講座」の開催

- ① 受講者数は合計38名(内訳：基礎9名/撮影11名/成人振付撮影9名/学校写真9名)。コロナ禍で4年振りに開催となった前年の第60回57名に対して▲19名
- ② 前年開催時に、主に講師が日ごとに変わる撮影コース、成人振付撮影コースでクラスマネージメントを上手くできなかったと云う反省があり、今回は「担任制」を強化。スムーズで効率的な授業の運営につながった
- ③ 前年の受講生に対して、受講後に夏期大サロン(オンライン・フォローアップ・ミーティング)を6回開催し、その効果の一つとして、12名が今回(第61回)も申込み、受講に繋がった
- ④ 夏期大サロンは、第61回受講生に対しても、夏期大実施2ヶ月後の10月にコース別に開催。また、2月には第60回、第61回受講生を対象にした合同の夏期大サロンを実施。出席した受講生には継続的な「学び」の場を提供できた

2. 技能検定受検者増に向けた、検定試験実施可能な拠点づくりを推進

- ① 技能検定資格が入札に有効との事例のもと、「技能検定開催に向けた(オンライン)説明会」(令和6年4月30日)を行い、実施年度である令和7年度に向けて、試験実施に向けた手順とともに、実施しない場合、近隣実施都道府県での受検対応を行なう方法も教示した
- ② 令和6年度第2回理事会、第2回全国合同(オンライン)会議では、実技試験実施都道府県を明確にし、他都道府県からの受検可能人数等を共有化して、受検申込みの促進を図った